

報道関係者各位

奈良県三郷町と『「SDGs×ゼロカーボンシティ」に向けた プラスチックごみ削減に関する連携協定』を締結

浄水型ウォーターサーバーのレンタル事業を行うウォータースタンド株式会社（本社：埼玉県さいたま市、代表取締役社長：本多 均、以下当社）は、「ごみゼロの日」である2023年5月30日（火）に奈良県三郷町（町長：森 宏範）と『「SDGs×ゼロカーボンシティ」に向けたプラスチックごみ削減に関する連携協定』を締結したことをお知らせいたします。



▲（左より）三郷町町長 森 宏範様、ウォータースタンド株式会社常務取締役 近藤 紀行

■三郷町町長 森 宏範様 コメント

三郷町は「SDGs 未来都市」及び「脱炭素先行地域」に選定された自治体として、近年問題視されているプラスチックごみ問題について積極的に取り組んでおります。2050年には海中のプラスチック量が魚の量を上回るといわれており、持続可能な社会の形成を目指している三郷町として、こうしたプラスチックごみ問題は喫緊の課題でした。そのような中、同様の理念を持つウォータースタンド株式会社と解決に向けた施策を官民連携で取り組めるようになったこと、とても嬉しく思っております。

今回三郷町が奈良県内では初の協定締結となりましたが、こうした動きが県内をはじめ全国各地に広まり、全国が一丸となって問題解決に取り組んでいければと思います。そのためにも、町内施設への給水機の設置だけでなく、小中学生にマイボトルを配布し、マイボトル利用促進や環境教育に繋げる等、住民の方々への啓発活動からまずは始めてまいります。何卒みなさまのご支援、ご協力賜りますよう宜しくお願いいたします。

■協定の概要

三郷町は、2023（令和5）年公表の「三郷町地球温暖化対策実行計画 区域施策編」にあるように、多様な主体が参画する「インクルーシブシティさんごう」を実現しながら脱炭素化に向けたまちづくりに取り組まれています。同計画では、マイボトルを活用することによるごみの発生抑制が掲げられているほか、様々な取り組みによって「ゼロカーボンシティさんごう」を実現していくことが計画されています。

本協定は、2050年脱炭素社会の実現に向け、使い捨てプラスチック製品の使用抑制やプラスチックごみの削減を推進する三郷町及び当社が連携、協力し、町内施設への給水機の設置や、マイボトル利用の促進を通じてライフスタイルの変革を呼び掛け、使い捨てプラスチック製品の使用抑制による温室効果ガスの削減やプラスチックによる環境汚染の防止等につなげることを目的としています。

■三郷町の環境政策

三郷町は2019（令和元）年に国から「SDGs 未来都市」に選定され、「持続可能な開発目標」「誰一人取り残さない社会の実現」というSDGsの基本理念を踏まえた様々な施策を展開されています。また、2021（令和3）3月に「ゼロカーボンシティ」宣言を表明、2022（令和4）年11月には奈良県内の自治体で初となる「脱炭素先行地域」に選定されました。

三郷町と当社は、地球環境問題が共に取り組むべき課題という共通認識の下、2050年カーボンニュートラルに向け、マイボトル利用環境の整備促進によるライフスタイルの変革を目的とする協定を締結し、マイボトルに給水できるウォータースタンドを設置し、意識浸透と行動変容との両面で持続可能な社会の実現に向け協働して参ります。同時に、当社のこれまでの知見を活用し未来の世代を含めて地域と一体で社会課題解決に寄与して参ります。

■ウォータースタンドについて

浄水型ウォーターサーバー「ウォータースタンド」は、ボトル不要でいつでもおいしい飲料水が使える利便性の高さ、運搬や使い捨て容器を必要としないエコな給水システムが支持され、子育て世帯を中心とした個人宅や、SDGs達成に取り組む法人、大学などに支持されています。

・当社の使い捨てプラスチックボトル削減に向けた取組

当社は使い捨てプラスチックボトル30億本の削減をミッションに掲げ、三郷町を含め全国の地方公共団体・教育委員会と「ボトルフリープロジェクト」を推進しています。当社の「ボトルフリープロジェクト」は、誰もがアクセスできる水道水を活用し環境負荷が少ない給水スタンドを整備し、マイボトル活用を推進するものです。本活動を通じて、使い捨てプラスチック削減・CO2排出抑制による気候変動の緩和と、水分補給による熱中症などの被害・健康増進による気候変動への適応の両立を実現します。この取組への協力を様々な組織・団体等に呼びかけながら、同様の取組を日本全国に拡大していきます。

・当社の取組の事例掲載・受賞一覧

- ・令和4年度彩の国埼玉環境大賞「優秀賞」
- ・脱炭素チャレンジカップ2022 「オルタナ最優秀ストーリー賞」
- ・令和3年度「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」受賞
- ・2021年度日本子育て支援大賞
- ・農林水産省・消費者庁・環境省連携 サステナアワード2020 伝えたい日本の"サステナブル"

サステナアワードルーキー賞

- ・経済産業省関東経済産業局 中小企業のSDGs取組事例
- ・国立環境研究所気候変動適応センター 気候変動適応情報プラットフォーム

■自治体との協定締結実績一覧

協定締結年月	自治体名	協定締結年月	自治体名	協定締結年月	自治体名	協定締結年月	自治体名
2019年 6月	さいたま市 (埼玉県)	2021年 8月	日野町 (滋賀県)	2022年 5月	山梨市 (山梨県)	2022年12月	富田林市 (大阪府)
2019年 9月	葉山町 (神奈川県)	2021年 8月	上尾市 (埼玉県)	2022年 6月	田川市 (福岡県)	2023年 1月	蓮田市 (埼玉県)
2019年 11月	所沢市 (埼玉県)	2021年 9月	島本町 (大阪府)	2022年 6月	日野市 (東京都)	2023年 1月	品川区 (東京都)
2020年 1月	京都市 (京都府)	2021年11月	藤岡市 (群馬県)	2022年 6月	横須賀市 (神奈川県)	2023年 1月	一宮町 (千葉県)
2020年 2月	鎌倉市 (神奈川県)	2021年11月	岡山市 (岡山県)	2022年 7月	鉾田市 (茨城県)	2023年 2月	足立区 (東京都)
2020年10月	世田谷区 (東京都)	2021年12月	直方市 (福岡県)	2022年 7月	佐倉市 (千葉県)	2023年 2月	寒川町 (神奈川県)
2021年 1月	熊本市 (群馬県)	2022年 1月	杉並区 (東京都)	2022年 8月	川口市 (埼玉県)	2023年 2月	札幌市 (北海道)
2021年 1月	小田原市 (神奈川県)	2022年 1月	丹波篠山市 (兵庫県)	2022年 8月	熊谷市 (埼玉県)	2023年 2月	豊岡市 (兵庫県)
2021年 3月	川崎市 (神奈川県)	2022年 3月	妙高市 (新潟県)	2022年 8月	小美玉市 (茨城県)	2023年 3月	流山市 (千葉県)
2021年 3月	藤沢市 (神奈川県)	2022年 3月	白岡市 (埼玉県)	2022年 8月	柏江市 (東京都)	2023年 4月	坂出市 (香川県)
2021年 4月	志摩市 (三重県)	2022年 3月	川崎町 (福岡県)	2022年 8月	茅ヶ崎市 (神奈川県)	2023年 4月	唐津市 (佐賀県)
2021年 4月	*春日部市 (埼玉県)	2022年 3月	多摩市 (東京都)	2022年 9月	東村山市 (東京都)	2023年 4月	鹿屋市 (鹿児島県)
2021年 4月	西宮市 (兵庫県)	2022年 3月	神崎町 (千葉県)	2022年 9月	小金井市 (東京都)	2023年 5月	練馬区 (東京都)
2021年 4月	尼崎市 (兵庫県)	2022年 4月	熊取町 (大阪府)	2022年 9月	諏訪市 (長野県)	2023年 5月	神奈川県
2021年 4月	吹田市 (大阪府)	2022年 4月	明和町 (三重県)	2022年10月	木更津市 (千葉県)	2023年 5月	三郷町 (奈良県)
2021年 6月	亀岡市・亀岡市教育委員会 (京都府)	2022年 5月	上野村 (群馬)	2022年10月	行田市 (埼玉県)		
2021年 6月	渋谷区 (東京都)	2022年 5月	町田市 (東京都)	2022年11月	広島市 (広島県)		
2021年 6月	泉大津市 (大阪府)	2022年 5月	浜松市 (静岡県)	2022年11月	塩谷町 (栃木県)		
2021年 7月	さいたま市教育委員会 (埼玉県)	2022年 5月	二宮町 (神奈川県)	2022年12月	坂東市 (茨城県)		

* 2022年4月着了

2023年5月31日時点 W

【ウォータースタンド株式会社 概要】

代表取締役社長：本多 均 (ほんだ ひとし)
 本社：埼玉県さいたま市大宮区桜木町 4-463 (全国 62 拠点 2023 年 4 月末)
 設立：1969 年 3 月 資本金：5,000 万円
 事業内容：水道直結ウォーターサーバー「ウォータースタンド」・空気清浄機レンタル

【問合せ先】

ESG 推進室 担当：小野 (おの)
 TEL：048-657-6731 e-Mail：pr@waterstand.co.jp
 コーポレートサイト <https://waterstand.co.jp/>
 サービスサイト <https://waterstand.jp/>